

審 議 会 会 議 録

会議名称	平成28年度 第1回伊達市社会教育委員会議		
議 題	平成28年度教育行政執行方針の説明ほか		
開催日時	平成28年6月28日（火）18時30分から19時40分まで		
場 所	伊達市役所第2庁舎 2階会議室1		
出席者	社会教育委員11名、教育委員会職員8名：出席者計19名 ※欠席委員1名		
	所管部課名	教育部生涯学習課	
公開非公開 の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	なし
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	—
【会議概要】			
1. 開 会			
2. 委嘱状交付 机上交付とした。			
3. 自己紹介 委員の半数近くが新しくなったことと、人事異動による事務局職員の変更があったことから、順に自己紹介した。			
4. 開会挨拶 （教育長より）主な内容は下記のとおり。 ◎「学校教育」と学校教育以外のいわゆる「社会教育」を併せて「生涯教育」という。 ◎地方創生に重要なことは、子供たちが大人になって地元に戻ってくる環境があるということであり、働く場所もそうであるが、戻りたいと思う環境づくりも重要であり、その為には社会教育の充実及び学校教育との連携が重要である。			
5. 議 事			
(1) 報告第1号 「平成28年度教育行政執行方針についての説明」 資料1を教育部長より説明。			
(2) 報告第2号 「全国社会教育委員連合・北海道社会教育委員連絡協議会・胆振管内社会教育委員連絡協議会関係報告」 資料2について、会議に出席した伊達市社会教育委員会議議長より説明。			

(3) 報告第3号 「平成28年度社会教育事業計画」

資料3について、事務局各担当者より説明。

6. 意見交換

〔事務局からの補足説明〕

◎来年度開催される全国社会教育研究大会北海道大会は9月11日から3日間開催されるが、12日と13日に各市町村の社会教育委員に参加動員があります。

◎事業計画に社会教育委員の意見を反映させるため、例年6月と2月の2回開催だった会議を3回に増やし10月にも会議を行ったが、10月会議で委員から提案のあった①伊達市の歴史教育的事業を青少年事業に取り入れる、②「ふまねっと」の普及については、①は第2回だてっ子遊び学びの教室で取り組み、②は5名分の指導者育成予算を今年度予算に付けています。

〔A委員〕 ハーフマラソンでの一般市民ボランティア等の応援体制はどうなっているのか。

〔事務局〕 広報等で募集したボランティアもいるが、ほとんどか体育関連団体からの応援である。

〔B委員〕 ハーフマラソンが中止になるという話を聞いたが。

〔事務局〕 中止にはなりません。実行委員会形式で開催していますが、30年も経ち主要な実行委員も高齢化しているので、体協なり市でサポートし今後も継続していく予定です。

〔C委員〕 ハーフマラソンの運営委員は足りているのか。

〔事務局〕 当日の人員は足りている。

〔D委員〕 ハーフマラソンの開催時期が早すぎるのではないか。

〔事務局〕 早いのを売りにしている。全道イチ早いので知名度も高い。

〔D委員〕 2月の教育委員会の合同表彰式の際、市長が挨拶でスポーツ合宿地の話をしていたが、その後の経過はどうなっているのか。

〔事務局〕 ソチ五輪の事前合宿ということで、スウェーデンのスキーチームが大滝のノルディックスキーコースを使った合宿の話が進んでいる。夏季五輪競技については、国際規格を満たした施設がなく施設改修を行ってまで誘致ということにはならないと思います。

〔E委員〕 第2回だてっ子遊び学びの教室では、どのようなことを行うのか。

〔事務局〕 昔のノコギリを使った丸太切り、開拓当時のお茶の体験、迎賓館見学等を予定しています。

〔E委員〕 子どもが関心を示すような事業を開催してほしいと思います。

7. 閉 会

平成28年度

教育行政執行方針

伊達市教育委員会

目 次

I	はじめに	1
II	推進項目	2～11
	1 学校教育	2～7
	2 社会教育	7～8
	3 芸術文化	8～10
	4 スポーツ振興	10～11
III	むすび	12

I はじめに

平成28年第1回伊達市議会定例会の開会にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げます。

我が国は、グローバル化や高度情報化が加速度的に進展する一方で、今後、急激な人口減少と少子高齢化社会を迎えることから、地方創生を成し遂げるため、多くの課題に一体的に取り組むとともに、国民一人ひとりが主体的に社会を創り出していくことが求められています。

このような変化が激しく、先の見通せない社会において、本市を持続的に発展させていくためには、自らが伊達市の将来を創り出していくという主体性を持ったひとづくり、郷土の歴史や文化を誇りに思い、生涯にわたり生きがいを持って活躍できる学びづくりが重要です。

伊達市教育委員会は、第六次伊達市総合計画や伊達市教育振興基本計画、地方版総合戦略などに基づいた各種教育施策に取り組むとともに、多様に変化していく教育環境や諸課題に対応すべく、市長が主宰する総合教育会議において十分協議を行うなど、市と教育委員会、学校、家庭、地域や関係機関・団体などとの連携を強化して教育行政を推進してまいります。

Ⅱ 推進項目

次に、平成28年度の推進項目と主要な施策について申し上げます。

1 学校教育

第一は、学校教育についてであります。

社会で生きる実践的な力の育成

厳しい社会を生き抜くために、児童生徒一人ひとりが自ら学び考え課題を発見し、その課題を他者と連携・協働しながら解決できる能力を育むことが求められています。その根幹となるのが確かな学力であり、その向上をめざして、全国学力・学習状況調査や伊達市独自の学力テストの結果を踏まえ、アクティブ・ラーニングの手法を用いるなどの学習指導の工夫・改善を推進し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着とそれを活用できる力を育ててまいります。

また、児童生徒が目標をもって学習を継続しようという意欲や自己肯定感を育むことが重要であることから、家庭における学習習慣と望ましい生活習慣の定着に向けた学校と家庭の一層の連携を促進してまいります。

特別支援教育につきましては、障がいのある子どもたちの自立や社会参加に向け、市の関係部局や関係機関との連携を図るとともに、就学時の幼稚園や保育所との引継ぎや、校種間での引継ぎを効果的に行うなど、継続した支援を推進してまいります。

また、小中学校に特別支援教育支援員や介護員を配置し、学校と連携を図りながら、当該児童生徒個々の教育的ニーズに応じたきめ細かな支援を推進してまいります。

情報モラル教育につきましては、児童生徒がインターネットを適切に活用する知識や能力を習得するとともに、ネットトラブルの被害者や加害者とならないよう、関係機関と連携を図るなどして、情報モラルを身につけさせる指導の充実を図ってまいります。

また、情報教育設備の整備につきましては、学校の児童生徒用、教師用パーソナルコンピュータを随時更新してまいります。

キャリア教育につきましては、児童生徒が夢や希望を持って将来を設計し、自己の進路や生き方の選択ができるよう、発達段階に応じて必要となる能力の育成に努めてまいります。

国際理解教育の柱となる英語教育につきましては、伊達地区の外国語指導助手及び大滝区の国際交流職員の学校への派遣を継続するとともに、学校と連携を図りながら、グローバル人材の育成に向けた外国語指導助手などの効果的な活用の研究や学習指導の改善に取り組んでまいります。

豊かな心と健やかな体の育成

規範意識や道徳的価値観、命を大切にし、他を思いやり、ふるさとを愛する心などを育むことは重要であり、「私たちの道徳」を活用した道徳の授業の一層の充実はもとより、学校の教育活動全体を通じて道徳性の向上に努めてまいります。

また、「全国体力・運動能力調査」や市内の小中学校の児童生徒を対象とした「伊達市体力テスト」の結果を踏まえ、体力向上プランを作成し、保健体育を中心とした教科指導の充実はもとより、家庭や関係機関と連携するなどして、日常的な運動習慣や望ましい生活習慣の定着を促進してまいります。

食育・健康教育につきましては、望ましい食に関する知識や食習

慣の習得のため、日常的な給食指導や栄養教諭未配置校に対する栄養教諭の派遣事業を継続してまいります。

学校給食につきましては、地域の地場産品を活用した給食の提供に努めるとともに、施設や配送の衛生管理に留意し、安全・安心な給食運営に努めてまいります。

がん教育につきましては、児童生徒が、がんに関する理解を深めるため、保健体育の授業はもとより、保健師による「出前授業」を活用するなどの取組を進めてまいります。

フッ化物洗口につきましては、引き続きすべての小中学校において実施することにより、歯と口腔の健康づくりを推進してまいります。

いじめにつきましては、「いじめはどの子どもにも起こりうる、どの子どもも被害者にも加害者にもなりうる」との認識のもと「いじめは絶対にゆるされない」、「いじめの兆候を見逃さない、見過ごさない」という意識を学校全体で醸成するとともに、教育相談やアンケート調査、北海道教育委員会と学校によるネットパトロールなどを通じて児童生徒の状況等を把握し、いじめの未然防止や早期発見、早期対応に努めてまいります。

また、伊達市いじめ防止基本方針を策定し、市、教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関等との連携を強化し、いじめ問題への総合的かつ適切な対応を図ってまいります。

生徒指導につきましては、学校が一体となって対応することが基本であり、その上で、教職員が児童生徒とコミュニケーションを深め、信頼関係を築くことにより、豊かな成長を育むための教育相談の充実を図るとともに、生徒指導力の向上に努める取組を促進して

まいります。

また、不登校対策につきましては、学校における早期の実態把握や対応と連携して、不登校対策訪問アドバイザーや不登校児童生徒サポートハウス「子どもの国フェニックス」を活用した支援に取り組んでまいります。

信頼される学校づくりの推進

地域に開かれた学校づくりをめざして、学校評議員制度の有効活用を図るとともに、適切な学校評価に基づいた学校改善に向け、学校の経営方針や教育実践などについて積極的に指導・助言してまいります。

また、地域住民や保護者が学校運営に参画し、学校が地域と一体となって子どもたちを育み、特色ある学校づくりを推進する「コミュニティ・スクール」の導入準備を進めてまいります。

学校間の連携・接続につきましては、子どもたち一人ひとりのもつ良さや可能性を見いだし育み、生涯にわたる学習の基礎を培うため、私立幼稚園や保育所の幼児と小学校の児童との交流活動など、幼小連携の充実に努めてまいります。

また、小学校と中学校間の円滑な接続のため、中学校区における効果的な引継ぎなどの小中連携を推進してまいります。

教育のプロとしての教職員の資質能力の向上につきましては、不断の研修の充実はもとより、北海道教育委員会などが行う研修事業への参加促進を図るとともに、「伊達市教育実践交流・研修会」などをおして、子どもたちのために市内の教職員が一体となって、授業力の向上や指導体制の充実に努めるよう取り組んでまいります。

また、市内の小中学校と道立学校の連携を進め、教職員相互の授業参観や研修を促進するなどして、市内のすべての学校の教育力向

上を図り、地域から信頼され期待される学校づくりを推進してまいります。

交通違反や体罰などの教職員の不祥事防止につきましては、教職員は子どもたちの人格形成に大きな影響を与える立場にあることから、北海道教育委員会の「コンプライアンス確立月間」などを通じて、教職員の自覚を促す指導を行ってまいります。

安全・安心な教育環境づくりの推進

学校施設につきましては、老朽化が進む校舎や設備の改修工事を実施するなど、安全・安心な教育環境の確保のため、引き続き施設の修繕や維持管理に努めてまいります。

少子化に対応した学校の適正配置につきましては、子どもたちの教育環境を整備するため、伊達市立達南中学校・伊達中学校統合準備協議会での協議・検討を踏まえながら、引き続き両校の円滑な統合に向けた取組を推進してまいります。

また、小学校の統合につきましても、「伊達市立小中学校適正配置基本方針」を踏まえつつ、子どもたちの教育環境の向上や地域の実情に応じた適正配置のあり方について、保護者や地域の方々との意見交換を進めてまいります。

学校の安全対策につきましては、学校敷地内や通学路における安全確保のため、小学校を対象としたスクールガードリーダーによる巡回指導や新入学児童への防犯ブザーの配付を継続するほか、伊達市通学路安全推進会議において、保護者、学校、道路管理者、警察などの関係者による通学路の安全確保のための取組を継続してまいります。

防災教育につきましては、自然災害にも対応する学校の危機管理マニュアルの改善・充実を図るとともに、災害別避難訓練などを通じて防災意識を高めてまいります。

2 社会教育

第二は、社会教育についてであります。

ふるさと意識を育て地域づくりに参画する青少年教育の推進

少子高齢化や高度情報化が急速に進む中、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しています。次の時代を生き抜く子どもたちには、時代の変化に順応するたくましさの高い社会参画意識を兼ね備えた、心身共に健全で伊達市の将来を担えるひととして成長できるよう、青少年団体やボランティア団体などと連携を図り、異年齢間の交流の機会や体験学習の場の創出など、青少年教育の充実を図ってまいります。

また、地域のリーダーとして活躍できる人材育成のため、姉妹・歴史友好都市シニアリーダー研修交流会などへの参加を促進するとともに、青少年団体の自主的活動の支援と育成に努めてまいります。

主体的な地域活動を推進するためのひとづくり・地域づくりの推進

生涯にわたり生きがいを持って活躍できるよう、様々な世代がいつでも気軽に学べる機会を提供するとともに、自主的な活動やコミュニティの形成に繋がるよう、市民講座やだて市民カレッジ等の各種講座の内容の充実など、学習環境の整備に努めてまいります。

高齢者が健康で心豊かな生活を送ることができるよう長生大学への参加を促進するとともに、学習内容の工夫・改善や学習外活動の

活性化に努めてまいります。

家庭や地域の教育力向上につきましては、関係機関・団体などと連携を図るとともに、広報紙などを活用した啓発活動や情報提供を継続してまいります。

図書館につきましては、引き続き、基本図書の実充を図り市民の生涯学習活動を支援するとともに、市民にとって身近な図書館をめざすため、読み聞かせボランティア活動の支援はもとより、図書館業務や児童生徒の読書活動に関わるボランティアが活躍できる場を提供してまいります。

さらに、伊達市子どもの読書活動推進計画に基づき、地域社会全体で子どもの読書活動の実充を図るとともに、幼児期の親子関係を育む絵本の読み聞かせやブックスタート事業、市民の高度化する学習要求に対応したレファレンスサービス、学校や地域での読書機会を拡充する巡回図書事業や地域文庫事業を推進してまいります。

また、老朽化した図書館の増改築を視野に入れた今後の図書館のあり方について、有識者や市民を交えた検討委員会を設置し、意見をまとめ基本方針を策定してまいります。

女性リーダー育成につきましては、胆振管内教育委員会連絡協議会の「胆振女性リーダー養成研修」に参加者を継続して派遣するとともに、男女共同参画社会の意識醸成を図る講演会などの啓発事業を推進してまいります。

3 芸術文化

第三は、芸術文化についてであります。

個性あふれ、潤いのある地域文化の創造

NPO法人伊達メセナ協会などの関係団体と連携し、市民に質の高い芸術文化の鑑賞機会を提供するとともに、小中学生には創造性や感性を育むため、巡回小劇場事業の実施を継続してまいります。

また、伝統芸能や郷土芸能を伝承・普及させるため、自主的な文化活動を支援し、発表の場などの提供に努めてまいります。

芸術・文化のひとづくり・環境づくりの推進

アートビレッジ事業につきましては、昨年度に引き続き、NPO法人噴火湾アートビレッジに「絵画教室」や「伊達音楽アカデミー」などの事業運営を委託し、長期的な視野に立った人材育成に努めてまいります。

また、寄託や寄贈を受けました美術作品などにつきましては、アートビレッジ文化館において随時公開するとともに、平成30年度オープン予定の「(仮称)伊達市総合文化館」での展示機会に備えて、美術作品などの分類や整理を進めてまいります。

宮尾登美子文学記念館につきましては、ボランティアによる宮尾作品の「朗読会」や「楽器の演奏会」を定期的を開催するなどして、文学に親しむ機会の提供に努めてまいります。

歴史・文化を活かしたまちづくりの推進

本市には、太古の昔から現代まで語り継がなければならない特色ある歴史や文化があります。縄文からアイヌ、武家文化まで、市民だれもがこの郷土の歴史や文化を理解し、誇りに思えるようなまちづくりを進めてまいります。

噴火湾文化につきましては、引き続き、大学、調査研究機関や研究者の協力のもと、郷土の歴史や文化に関する調査研究を進めてまいります。

また、若生貝塚の発掘調査と市内に残る近世文書の調査を継続するとともに、噴火湾文化研究所内で遺跡からの出土品を整理・保管・展示・活用する準備を進めてまいります。

世界遺産推薦候補である「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の一資産となっている国指定史跡の北黄金貝塚につきましては、関係機関などと連携し、特別展や講演会、フォーラムを開催するなど、世界遺産登録に向けた市民の意識啓発や周知広報活動に努めてまいります。

歴史や文化を活かしたまちづくりにつきましては、「(仮称)伊達市総合文化館」の平成30年オープンに向けて、展示内容と体験学習教材について調査研究を進め、貴重な文化財を保存するとともに、縄文文化からアイヌ文化、亘理伊達家の移住にいたる郷土の歴史や文化などについて系統性のある学びが提供できる施設となることをめざしてまいります。

4 スポーツ振興

第四は、スポーツ振興についてであります。

スポーツ・レクリエーション活動の振興

温水プールとトレーニング室を含めた総合体育館を拠点として、体力や年齢、健康志向に応じた各種スポーツの機会の提供や促進を図るため、指定管理者をはじめスポーツ推進委員や関係団体と連携

し、ニュースポーツの講習会や大会、スポーツ教室の開催など、活動環境の充実に努め、市民の健康づくりを推進してまいります。

また、総合体育館をはじめとした体育施設の効果的・効率的な活用を図り、健康・体力づくりの増進に向けた環境整備に努めてまいります。

Ⅲ むすび

以上、平成28年度の教育行政執行にあたっての方針と推進項目及び主要な施策について申し上げます。

伊達市教育委員会といたしましては、本市の将来を担う子どもたちが、郷土に誇りをもって未来に向かってたくましく成長していくことができるよう、学校、家庭、地域をはじめ、関係機関・団体などと連携を図りながら、本市教育のより一層の充実・発展に全力で取り組むとともに、市民が生涯にわたり豊かに学び、学んだことを活かすことのできる生涯学習社会の実現をめざしてまいります。

市議会議員の皆さま並びに市民の皆さまのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

報告第2号 全国社会教育委員連合（社教連）・北海道社会教育委員連絡協議会（道社連協）・胆振管内社会教育委員連絡協議会（胆社連）関係報告

1. 社教連関係

昨年度提案があった社会教育委員からの寄付金について、5月17日の全社連総会で修正案提出された。

[H27. 11. 20 緊急提案内容及び経過]

社教連存続のため、全国の社会教育委員に対し、1任期2,000円の寄付を求めるというので、この提案は、道社連協→胆社連→市町村に通知があり、社会教育委員にアンケートを行い意見を集約するというものであった。

これに対して、中澤議長とも相談し、伊達市としては、「全国組織が組織存続を任意の寄付に頼るのは問題がある。伊達市としてはアンケート調査を行わない。」ということとし、胆社連に報告した。

[H28. 02. 22 道社連協理事会]

道社連協としては今回の提案に反対ということで回答することとした。

[H28. 06. 13 道社連協理事会]

出席した中澤議長の話では、明確に反対したのは2団体(※)であったことから、修正案が提出されたようであるとのこと。

※都道府県及び政令指定都市で、社教連下部組織が68団体あり、その内の2団体。

[修正後の提案内容] ◎：修正案 ◆：追加案

◎全国の社会教育委員より2,000円の寄付ということは変わらないが、「1任期」という言葉が削除された。

◆会員（前記「下部組織」）からの会費を、7万円から10万円に引き上げる。

◆有志会員を新たに設けて、年2,000円の会費を徴収する。

◆全国大会やブロック大会での社教連からの助成額を減額する。

2. 道社連協関係

(1) 一般事項

①中澤議長が理事に就任した。※胆社連規約により胆社連会長が道社連協理事。

(2) 全国大会関係（平成29年度開催）

①胆社連の役割分担が「大会報告書の作成」に決定。

②大会への社会教育委員の動員予定は800人。動員要請がどのようになるのかは、今後の実行委員会で決定されるもよう。（道内の社会教育委員数は約2,000人）

3. 胆社連関係

①伊達市が事務局を受け持つこととなった。※2年間（H28.5月：総会終了後～H30.5月）

②中澤議長が会長、森副議長が理事に就任した。※2年任期

報告第3号 平成28年度社会教育事業計画

[資料3]

平成28年度 社会教育事業計画 [日程表]

担当課・係 生涯学習課社会教育係

【社会教育事業関係〔社会教育委員関係〕】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は参加予定人数	備考
全国大会打合会議 札幌市	本年度胆社連会長に就任する中澤議長が出席※胆社連総会前のため、室蘭市と協議した。	H28. 04. 14	中澤議長 齋藤係長	
第1回道社連理事会 札幌市	道社連総会の前に理事会が開催されるが、中澤議長は胆社連総会前のため、役職的には道社連評議員であることから、総会のみ出席。	H28. 04. 22	—	
道社連総会 札幌市		H28. 04. 22	中澤議長	道社連評議員として
胆社連役員会及び総会 (室蘭市役所)	役員改選年度であり、会長に中澤議長、理事に森副議長が就任予定。	H28. 05. 18	中澤議長 山根課長 齋藤係長	
第2回道社連理事会 札幌市	13日は道社連理事として、 14日は胆社連会長として、 両会議とも中澤議長が出席。	H28. 06. 13	中澤議長	1泊
全国大会打合会議 札幌市		H28. 06. 14	中澤議長	
第1回社会教育委員会会議 伊達市役所第2庁舎	道社連、胆社連関係の報告及び本年度事業計画の報告。	H28. 06. 28	全委員	
社会教育委員長等研修会 (札幌市)	基調講演、分科会等。	H28. 07. 07～ H28. 07. 08	中澤議長 齋藤係長	1泊
第2回社会教育委員会会議 伊達市役所第2庁舎	本年度事業実績報告(中間報告)及び次年度事業計画のための意見聴取	H28. 10. 未	全委員	
北海道社会教育研究大会 兼第3回道社連理事会 (富良野市)	基調講演、パネルディスカッション、分科会等	H28. 10. 13～ H28. 10. 14	中澤議長 齋藤係長	1泊
胆社連表彰式・研修会兼 社会教育主事等研修会 (カルチャーセンター)	社会教育主事会と合同研修会。研修会の前段で胆社連表彰式を行う。平日の午後開催ですが可能な限り参加をお願いします。	H28. 11. 未	全委員	
第3回社会教育委員会会議 伊達市役所第2庁舎	本年度事業実績報告及び次年度事業計画(素案)の報告。	H29. 02. 未	全委員	
第4回道社連理事会 札幌市		H29. 02. 未	中澤議長 齋藤係長	

平成28年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係 生涯学習課社会教育係

【社会教育事業関係】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は参加予定人数	備考
市民講座(第1講座) カルチャーセンター	「春からの野菜づくりビギナー講座」全2回	H28.04.15 H28.04.19	10	終了
市民講座(第2講座) カルチャーセンター	「伊勢物語～平安貴族の世界にふれる」全5回	H28.06.02 H28.06.09 H28.06.16 H28.06.23 H28.06.30	13	申込締切
市民講座(第3講座) カルチャーセンター	「木を使った小物づくり講座」全4回	H28.06.06 H28.06.13 H28.06.20 H28.06.27	10	申込締切
市民講座(第4講座) カルチャーセンター	「着物の生地を使った小物づくり講座」全4回	H28.09.07 H28.09.14 H28.09.21 H28.09.28	8	申込受付 これから
市民講座(第5講座) カルチャーセンター	「笑う門には福来る!～笑いヨガで心も体も健康に～」全3回	H28.10.06 H28.10.13 H28.10.20	12	
市民講座(第6講座) カルチャーセンター	「おいしいコーヒーを淹れてみませんか?」全3回	H28.11.07 H28.11.14 H28.11.21	15	
市民講座(第7講座) カルチャーセンター	「ペーパーをレースのように華やかに～パーチメントクラフト講座」全4回	H28.11.17 H28.11.24 H28.12.01 H28.12.08	10	
市民講座(第8講座) カルチャーセンター	「クリスマス/お正月飾り」全1回	H28.12.未	30	
市民カレッジ(第1講座) カルチャーセンター	フルート奏者の大島さゆり氏を招いて、講演及びフルート演奏	H28.06.29	25	6/15現在 申込状況
市民カレッジ(第2講座) (行き先:蘭越町)	参加市民を集い蘭越町周辺の文化施設等を巡る市バスツアー	H28.07.14	23	
市民カレッジ(第3講座) カルチャーセンター	講師: 榎伊達観光物産公社代表取締役の大坪鐵雄氏 テーマ: 「地域の活性化について」	H28.08.18	21	
市民カレッジ(第4講座) カルチャーセンター	講師: 噴火湾文化研究所学芸員の伊達元成氏 テーマ: 「伊達の歴史を読み直す」	H28.09.30	22	
市民カレッジ(第5講座) カルチャーセンター	講師: 札幌学院大学法学部教授の伊藤雅康氏 テーマ: 「なぜ?なに?日本国憲法」	H28.10.21	23	
胆振女性リーダー養成研修 埼玉県	埼玉県(比企郡嵐山町:国立女性教育会館)で開催される「男女共同参画推進フォーラム」に市民3名を派遣する。	H28.08.25～ H28.08.28	3	※第2講座以外は 空きがかなりあります。
女性プラザ祭 札幌市(かでの2・7)	男女共同参画に関するイベントで参加市民を集い市バスで参加	H28.11.上	33	
社会教育関係合同表彰式 カルチャーセンター	◎芸術文化表彰 ◎スポーツ賞表彰 ◎体力づくり運動功労者行賞 上記について、功績が顕著であった個人・団体を表彰	H29.02.中	—	
男女共同参画パネル展 カルチャーセンター	カルチャーセンターロビーにてパネル展を開催	H29.03.上	—	
伊達市長生大学	◎伊達長生大学 活動拠点:カルチャーセンター ◎有珠長生大学 活動拠点:有珠白鳥館 年間約20日の授業があり、講会や実技講習(軽体操、ペン習字等)を行っている他、修学旅行(1泊)、見学旅行、運動会、学芸発表会、ボランティア活動等を行っている。	通年	伊達 246人 有珠 17人	6/15現在

平成28年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係 生涯学習課社会教育係

【芸術文化事業関係】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は参加予定人数	備考
第38回小さな朗読会 宮尾登美子文学記念館	宮尾文学作品の朗読会 随筆集『女のあしおと』より「浮き沈み50年」前編	H28.06.25	30	
第39回小さな朗読会 宮尾登美子文学記念館	随筆集『女のあしおと』より 「浮き沈み50年」後編	H28.08.20	30	
第40回小さな朗読会 宮尾登美子文学記念館	内容未定	H28.10.08	30	
第41回小さな朗読会 宮尾登美子文学記念館	内容未定	H28.11.12	30	
巡回小劇場(中学生) カルチャーセンター	(株)スノー・ボール 「クラシックってすばらしい! 本物を学ぼうコンサート」	H28.08.23	953	引率含む
巡回小劇場(小低学年) カルチャーセンター	(有)パフ・ファミリーオフィス 「イキイキわくわく音楽祭」	H28.08.25	922	引率含む
巡回小劇場(小高学年) カルチャーセンター	(株)四季(劇団四季) 「エルコスの祈り」	H28.09.15	937	引率含む
宝くじ文化公演(演劇) 「ザ・フルーツ」 カルチャーセンター	約400万円の公演料は、全額が自治総合センターから補助があり、市の負担は劇団に払う公演料以外の費用。チケット売り上げの50%を自治総合センターに納める。	H28.07.21	636	大ホール 1階席
市民サークルまつり カルチャーセンター	市民サークルの作品展示等	H28.09.02～ H28.09.04	—	
市民総合文化祭 カルチャーセンター 経済センター2階	◎文化関連団体の作品展示 ◎市民音楽祭 ◎ふるさと芸能まつり・・・等	H28.10.上～ H28.11.下	—	
西いぶり定住自立圏文化 公演(登別市市民会館)	人形浄瑠璃「文楽」(2回公演) ※西いぶり定住自立圏文化事業として3市持ち回りで開催している文化公演事業。2,500円/1公演	H28.10.16	700	

平成28年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係 生涯学習課文化財係

【文化財事業関係】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は参加予定人数	備考
若生貝塚発掘調査 若生貝塚	科研費事業で行う縄文遺跡の調査	H28. 04. 18～ H8. 04. 22	20	終了
善光寺フォーラム 有珠善光寺	国史跡善光寺跡での講演会	H28. 06. 25	200	
新・縄文ロビー講座 史跡北黄金貝塚公園	縄文文化の内容と発掘調査の最新情報を提供する講座（4回）	H28. 05～11	80	
縄文の森づくり 史跡北黄金貝塚公園	縄文の森づくりを行う事業の植樹・収穫祭（2回）	H28. 05～09	60	
七夕まつり 迎賓館	市有形文化財の迎賓館を活用し、七夕イベントを行う	H28. 08. 06	100	
縄文キャンプ 史跡北黄金貝塚公園	石器づくりや竪穴住居での宿泊をとおり、縄文文化を学ぶ。	H28. 08. 27～ H28. 08. 28	20	1泊2日
だて噴火湾縄文まつり カルチャー・北黄金貝塚	縄文文化を学び、楽しむイベントとして実施	H28. 08. 27～ H28. 08. 28	1,000	
緑丘高校縄文学習 緑高・史跡北黄金貝塚公園	緑丘高校の敷地内の遺跡や市内の遺跡について学習する。	H28. 10. 未	160	
文化財防火デー 善光寺・三戸部家住宅	重要文化財を火災から守るための消防訓練	H28. 11. 02	50	
ひな祭り 伊達市開拓記念館	雛人形を鑑賞する無料開放日	H29. 03. 03	200	
学術連携講演会 カルチャーセンター	東北大学と連携した講演会（H28年度は伊達市で開催）	H28. 10. 01	80	
スタートアップ講演会① カルチャーセンター	文化館建設の周知のための博物館講座	H28. 09. 03	200	
スタートアップ講演会② カルチャーセンター	文化館建設の周知のための博物館講座	H29. 02. 未	200	
動物考古学セミナー 伊達市噴火湾文化研究所	動物標本を用いて貝塚から出土した魚や動物の種類を鑑定する。	H29. 02. 未	20	

平成28年度 社会教育事業計画〔日程表〕

担当課・係 図書館業務係

【図書館事業関係】

事業名 (会場)	事業概要	開催予定日	定員又は参加予定人数	備考
子ども読書まつり 図書館	子ども一日司書、子ども向け展示他	H28. 04. 23 ～H28. 05. 15	期間計 3,330	終了
七夕飾りづくり 図書館	長さ4.5mの笹を設置し、子ども達が期間中書いた短冊を飾る。	H28. 07. 01 ～H28. 08. 09	期間計 180	
夏休み子ども工作教室 図書館	小学校低学年向けの工作教室を実施	H28. 07. 29	20	
文学散歩 札幌市	北海道立文学館、近代美術館見学予定	H28. 07. 21	30	
だて図書館まつり 図書館	講演会、大人向けお話し会、読書クイズ、おすすめ本展示他	H28. 10. 21 ～H28. 11. 06	期間計 2,700	
小中学生読書感想文・感想画表彰式 図書館	小学生の部入賞者の表彰及び代表3名による発表	H29. 02. 18	応募 200 表彰式 130	
伊東文庫巡回事業 市内全小学校	伊東氏からの寄贈児童書を各校に3週間程度巡回	H28. 06. 17 ～H29. 03. 24		
おはなし会 図書館	小学校低学年向けのおはなし、絵本の読み聞かせ等を実施	毎月第1土曜日	延べ 120	
絵本の読み聞かせ会 図書館	絵本の読み聞かせ、紙芝居、手遊び等を実施	毎月第2・4 水曜日	延べ 530	
子ども映画会 図書館	子ども向け映画会の上映	毎月第2・4・5 土曜日	延べ 570	
地域文庫配本 各地域文庫6か所	各地域文庫へ半年毎に250冊を配本し、配架する。	各文庫 年2回入替		
ブックスタート 保健センター	保健センターで実施する乳幼児栄養相談の際、絵本の読み聞かせや絵本の手渡しを実施。対象は1歳児で95%近くが栄養相談に来庁する。	毎月1回 乳幼児栄養相談日	延べ 229	
ブックスタート・ステップ 図書館	絵本の読み聞かせや絵本の手渡しを実施。対象は2歳児。	5日間を年3回 7・10・2月	延べ 172	